

2018.4.18<計2枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)  
設立 10 周年記念シンポジウム「高齢化先進国としての日本モデルを目指す」開催**

立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)は、設立 10 周年記念シンポジウム「高齢化先進国としての日本モデルを目指す」を開催いたします。

R-GIRO は、2008 年の設立以来、「21 世紀の持続可能で豊かな社会の構築」を目指し、自然科学と人文社会科学を横断した研究活動を展開し、その成果をアジアはもとより広く世界に発信してきました。近年、日本をはじめ多くの先進国に少子高齢化の荒波が押し寄せ、わが国はそれから派生する諸問題に対しても「政策面」のみならず「研究面」からも真剣に取り組まねばなりません。

設立 10 周年を記念して開催する本シンポジウムでは、高齢化問題に焦点をあてます。理化学研究所の松本紘理事長(前京都大学総長)、立命館大学アジア太平洋大学の出口治明学長の記念講演と、本機構からは創薬や健康寿命延伸をはじめとする関連分野の最新動向をご紹介します。高齢化先進国として世界をリードするために、日本がなすべき課題を参加者のみなさまと考える機会にしたいと考えています。

## 記

**日 時** : 2018 年 5 月 11 日(金)13:00~18:00

**会 場** : 立命館大学朱雀キャンパス 5 階 大講義室

**内 容** : 別紙参照

**参加費** : 無料

**申込方法** : 氏名、所属、連絡先を明記の上、メールフォーム、E-mail または FAX でお申し込みください。

メールフォーム [http://bit.ly/R-GIRO\\_10th](http://bit.ly/R-GIRO_10th)

E-mail [resplan2@st.ritsumei.ac.jp](mailto:resplan2@st.ritsumei.ac.jp)

FAX 075-813-8202

会場定員(400 人)に達した時点で締め切らせていただきます。

**主 催** : 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)

**共 催** : 文部科学省センターオブイノベーション事業、文部科学省私立大学研究ブランディング事業

**その他** : シンポジウム終了後に同キャンパス 1 階多目的室にて懇親会(18:00~19:00)を開催します。一般の方の参加可能、参加費無料です。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学研究企画課 R-GIRO 事務局 担当: 為山・山本

TEL.075-813-8199

## 【別紙】

### プログラム ※敬称略

司会 津田雅也(立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究顧問)

小山昌久(立命館大学大学院国際関係研究科 科長)

13:00～13:10 開会挨拶

立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長

吉田 美喜夫

13:10～14:00 記念講演

「少子高齢化社会にどう対応するか」

立命館アジア太平洋大学 学長

出口 治明

14:00～15:00 記念講演

「科学と研究～未来社会はどうあるべきか～」

国立研究開発法人理化学研究所 理事長

松本 紘

15:00～16:00 立命館の挑戦

「人口減少日本での『高齢者の仕事創り・生産者の夢創り・若者の未来創り』」

立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長代理

村上 正紀

「新薬づくりの夢、大学からの挑戦」

立命館大学 総合科学技術研究機構 招聘教授

北 泰行

16:00～16:20 コーヒーブレイク

16:20～17:50 立命館の挑戦

「高温気候にも耐える農業への挑戦～生命科学からのアプローチ～」

立命館大学 生命科学部 教授

三原 久明

「ダイバーシティで乗り切る少子高齢化」

立命館大学 総合心理学部 教授

矢藤 優子

「アクティブライフ時代の健康イノベーション」

立命館大学 スポーツ健康科学部 教授

伊坂 忠夫

17:50 閉会挨拶

学校法人立命館 理事長

森島 朋三

※プログラムは変更となる場合があります。